見本・架空のシステム

SAMPLE REPORT

販売管理システム
現状調査報告書（見本）

調査対象：架空の卸売会社「サンプル商事株式会社」の販売管理システム（Access＋VB6）

調査期間	20XX年X月X日〜X月X日（5週間）
調査方法	ソースコード・データベースの解析、実行記録の確認、利用者への聞き取り（3名・計4時間）
作成	株式会社オーバーエックス

この見本について

この報告書は、オーバーエックスが現状調査でお渡しする報告書の構成と書き方をお見せするために、**架空のシステム**を題材に作成したものです。会社名・数値・内容はすべて架空で、実在の会社やシステムとは関係ありません。実際の報告書は、調査の範囲に応じて20〜60ページ程度になります。

1. 概要と結論

結論：現行システムは業務に合っており、すぐに止まる状態ではありません。ただし、**修正できる人がいない**こと、**サポートの切れた部品に依存**していること、**月末の締めが手作業の更新クエリに依存**していることの3点から、**1年以内に移行の方針を決め、2年以内に段階的に移行**することを推奨します。

優先して対応すべきこと（3か月以内）

No	内容	重要度
1	データベースファイル（販売.accdb）の毎日のバックアップと、切り離した場所への保存。現在は週1回・同じNASに保存	高
2	月末の締め処理（更新クエリ5本の手動実行）の手順書化と、担当者以外の実施訓練	高
3	共有フォルダーのアクセス権の見直し。全社員がデータベースファイルを直接開ける状態	中

調査の範囲

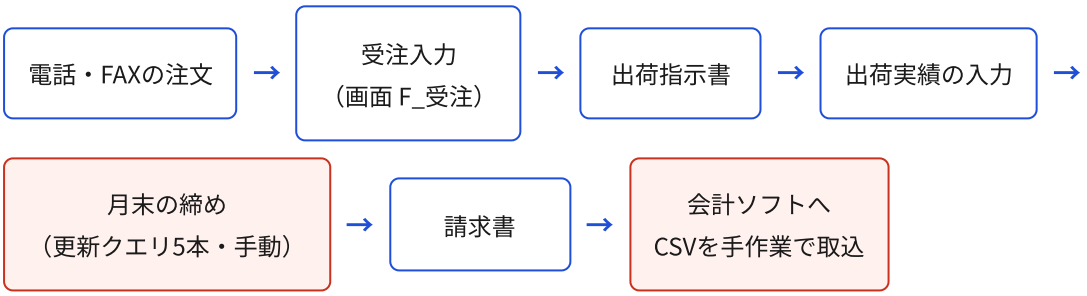
対象	数	うち利用中
Accessのテーブル	48	31
Accessのクエリ	212	96
VB6のフォーム（画面）	64	41
帳票	38	22
外部連携	4	4

「利用中」は、実行記録と聞き取りで、直近1年に使われたことを確認したもの。利用中でないものは、移行の対象から外す候補です（最終判断は業務担当者の確認後）。

2. システムの構成とサポートの状況

構成要素	バージョン	サポートの状況
画面（クライアント）	VB6で作成した実行ファイル	開発環境はサポート終了。修正には古い開発環境が必要
データベース	Access形式のファイル（NAS上）	同時に使う人が増えるとファイル破損のおそれ
部品	帳票用の外部部品（OCX）2種	提供元が販売終了。代わりの部品が必要
PC	Windows 11（15台）	サポート中。部品の動作は個別に確認済み

3. データの流れ（受注〜請求）



赤枠は、手作業に依存しており、担当者以外が実施できない、または誤りが起きやすい箇所です。

主要なテーブル

テーブル	件数	内容	移行の注意点
T_受注	約182,000	受注の見出し	2008年以前の分に、取引先コードの重複がある
T_受注明細	約640,000	受注の明細	単価の小数点以下の桁数が途中で変更されている
T_得意先	1,214	取引先	締め日・掛率の例外が備考欄に文字で書かれている

4. 業務ルールの一覧（抜粋）

プログラムから抜き出した計算・判定のルールを、業務の言葉で記載しています。「要確認」は、コードからは意図が読み取れず、業務担当者への確認が必要な項目です。

No	ルール	書かれている場所	状態
R-03	得意先区分が「3」の取引先は、締め日を翌月10日とする	クエリ Q_締め_更新2	確認済み
R-07	明細ごとに消費税を計算し、1円未満は切り捨てる。合計で再計算はしない	VB6 モジュール modTax	確認済み
R-11	数量が100以上の明細は、単価から2%を引く（画面にだけ表示し、保存しない）	フォーム F_受注 の計算式	要確認
R-15	出荷日が空の受注は、月末の締めで翌月に繰り越す	クエリ Q_締め_追加1	確認済み
R-19	得意先コードが「9」で始まる取引先は請求書を発行しない	帳票 R_請求書 の抽出条件	要確認

実際の報告書では、業務ルールを全件（この見本の想定では約120件）記載し、新しいシステムの要件定義とテストの観点として使えるようにします。

5. 外部との連携

連携先	方式	タイミング	担当
会計ソフト	CSVを書き出し、手作業で取り込み	月末	経理 1名
主要取引先A社のEDI	専用ソフトで受信したファイルを取り込み	毎日	受注担当
Webの注文フォーム	メールで届いた注文を手入力	随時	受注担当
倉庫	出荷指示書をFAX	毎日	受注担当

6. リスクの一覧

重要度	リスク	起きたときの影響	対策の案
高	VB6のプログラムを修正できる人が社内外にいない	法改正・取引条件の変更に対応できない	移行の方針決定。当面の保守先の確保
高	バックアップが週1回・同じNASのみ	ランサムウェアや故障で最大1週間分のデータを失う	毎日のバックアップと、切り離した場所への保存
高	月末の締めを担当者1名が手作業で実施	担当者の不在時に請求書が出せない	手順書化と訓練。移行時にシステム化
中	帳票部品の提供終了	Windowsの更新で帳票が出なくなるおそれ	代わりの部品での作り直し、または移行
中	全社員がデータベースファイルを開ける	誤操作・持ち出しによるデータの破損・漏えい	アクセス権の見直し
低	使われていないクエリ・画面が多い	調査・修正の手間が増える	移行時に整理

7. 選択肢と費用感

選択肢	内容	費用感	期間	評価
A. 保守を続ける	VB6の開発環境を整え、最小限の修正で使い続ける	年XX万円	—	修正できる人の確保が前提。2年以内の判断の先延ばしとしては可
B. 部分的に直す	データベースをSQL Serverに移し、帳票と締め処理だけ作り直す	XXX万円〜	4〜6か月	リスク高の2件は解消。画面のVB6は残る
C. 作り直す（推奨）	Webシステムとして作り直し、会計・EDIとの連携と締め処理をシステム化	X,XXX万円〜	10〜14か月	リスクの多くを解消。段階移行が可能

費用・期間は見本のため伏せています。実際の報告書では、選択肢ごとの概算の金額と前提条件を記載します。

オーバーエックスの現状調査　30万円〜（税別）・期間の目安1〜2か月。AS/400（RPG・COBOL）、Lotus Notes、Delphi・VB6・Access などで作られた業務システムに対応しています。
お問い合わせ：https://overx.co.jp/contact/　　詳細：https://overx.co.jp/service/system-replace/